

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに全ての原発を廃炉にする。
- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

福島の原発事故の原因も対策も明らかにされないまま再稼働は納得できません。原発がなくても夏期の電力はまかなわれました。節電の努力と代替の自然エネルギーで新たな電力を創り出します。核のゴミの処理もできません。危険は増すばかりです。すぐ原発ゼロにする道は止めたまま廃炉にします。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに廃炉にする。
- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

福島の原発事故の経験では 30～40キロ圏は人も住めなくなり、道内圏の産業と地域は破壊されます。泊周辺は活動層は地震被害の予備金になります。北海道の恵まれた自然再生エネルギーで新たな電力を創り出します。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに建設を断念すべき。
- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

事故が起れば渡後検査小地方だけでなく北海道の農業・漁業に甚大な被害を及ぼすだけでなく地域経済の破壊になります。函館は30K余の距離にあるが説明がありません。大間周辺の活動層も調査工事で知らず極めて危険です。

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 断固として認められない。
 - ・慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
 - ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
 - ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

孫子の代に莫のツケを残すことはできないのは勿論。現時点でも危険にさらされる生活をする必要に迫ります。断じて許すことはできません。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いておりますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

- 知っている。
 - ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

国民一人ひとりの意志を行動で示すことは大切です。
道民の声をひとつとして大きな波をつくり出してゆきましょう。
共に頑張ります。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いませんか？

- 参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)
 - ・機会があれば参加したい
 - ・考えていない
 - ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。

北海道5区 鈴木龍次